

政策体系	政策No.	7	政策名	新たな行政経営によるまちづくり			施策主管課	議事調査課	
	施策No.	4	施策名	開かれた議会運営の推進	重点施策	施策主管課長名	新町 貴		
施策関係課名	総務課、行政改革推進課、選挙管理委員会事務局、議会事務局議事調査課								
1 基本計画期間(平成25年度～平成29年度)における施策の方針									
市民の議会に対する関心は高い水準にあるが、さらなる成果向上を目指すため、議会改革のサポートを行いながら市民に対する積極的な情報提供に努める。									
2 施策の目的と成果把握									
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		市議会							
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A	定例会・臨時会の審議日数	日	見込み値	27	28	27	28	27	28
			実績値	27	27				
B	常任委員会の審議日数	日	見込み値	54	65	65	65	65	65
			実績値	65	34				
C	特別委員会の審議日数	日	見込み値	61	6	6	6	6	6
			実績値	28	18				
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		市民に関心を持たれる議会になる							
◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)									
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
A	議会に関心を持っている市民の割合	%	成り行き値	50.0	56.0	56.0	56.0	56.0	56.0
			目標値	80.0	63.0	65.0	67.0	68.0	70.0
			実績値	61.3	61.1				
			達成率	77.0%	97.0%				
			結果	△	○				
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
E			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)				⑥ 平成29年度の目標値設定の考え方					
A 議会に関心を持っている市民の割合 ※総合計画進行管理に係る市民意識調査				A 「議会に関心を持っている市民の割合」については、「インターネットでの議会中継と本会議会議録検索システムの導入」、「委員会の会議録の公開」、「議会報告会の実施」、「広報広聴常任委員会の設置」、「議会棟の音響再生装置等の改修」等を行い、議会広報活動等の充実に努めており、今後も議会広報活動等の更なる周知を図るとともに、「霧島市議会基本条例」の的確な運用を図ることにより、議会の審議内容がさらに理解され、議会がより身近なものと感じられるようになると考えられることから、70.0%を目標値とする。					
B									
C									
D									
E									

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 市民への議会広報活動の充実を図るため、分かりやすい議会だよりの作成を行う必要がある。
- インターネットを利用した本会議の映像配信、会議録検索システム、ケーブルテレビを通じた議会中継、議会報告会等の広報手段を、議会だよりや広報誌などを活用して市民に周知を図る必要がある。
- 「議会基本条例」の的確な運用を図る必要がある。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<ul style="list-style-type: none"> ■議会 <ul style="list-style-type: none"> ・傍聴しやすい議会の環境づくり。 ・市民に対する議会活動の情報提供。(読みやすい議会だよりの発行など) ・議会基本条例(「市民に開かれた議会」、「市民参加の機会の拡充」及び「市民参加及び市民との連携」)の積極的な運用を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■住民 <ul style="list-style-type: none"> ・議会を積極的に傍聴する。 ・議案に関心を持つ。 ・議会活動に関心を持つ。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 傍聴しやすい議会の環境づくり:傍聴者等から議場での発言者の声が聞き取りにくいので改善をしてほしい等の要望もあり、平成24年度でAVシステム(音響再生装置とビデオ装置を組み合わせたシステム)の改修を行った。
- 市民に対する情報提供:①年4回議会だよりを発行し、定例会等の情報発信を行っている。②インターネット上に本会議及び4常任委員会の議事録を公開している。③インターネットを利用して本会議の生中継及び録画放送を行っている。④定例会終了後旧市町ごとに「議員と語り合い」を行っている。
- 今後、スマートフォン等の情報化社会に適応するため、スマートフォン等様々な媒体を活用した情報発信に努める必要がある。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 議員が積極的に市民との会話をする場を持ってもらいたい。
- 議会だよりを読みやすくすることや設置場所を増やしてほしい。

5 施策の現状

① 平成25年度施策の取組方針

- 平成24年度で議場等のデジタル化を含む機器の改修を行い、ケーブルテレビによる議会中継や傍聴者が傍聴しやすい環境整備等を行ったことを市民に周知を図る。
- 市民への議会広報活動の充実を図るため、分かりやすい議会だよりの作成を行う。

② 平成25年度施策の取組方針の達成状況

- 議会だよりやホームページにおいて、ケーブルテレビやインターネットでの議会中継の案内をするともに、傍聴席及び議場の写真を掲載するなど、市民への周知を図った。
- 分かりやすい議会だより作成のために、広報広聴常任委員会の委員とともに、広報セミナーに参加し、記事の作成や写真掲載のノウハウなどを学び、より見やすく読みやすい編集に取り組んだ。また、市民インタビューなど特集記事を組むなど市民参加型の議会だよりにも取り組んだ。

③ 平成25年度施策の目標値と実績値の比較

- 目標達成 ◎ 105%以上
- 目標をほぼ達成 ○ 95%~105%未満
- 目標を未達成 △ 95%未満

	平成25年度成果指標			結果
	目標値	実績値	達成率	
A	63.0	61.1	97.0%	○
B				
C				
D				
E				
F				

④ 平成25年度施策の成果指標の達成状況及び要因

- 議会に関心を持っている市民の割合は、平成24年度の実績値61.3%と比較し、0.2ポイント減の61.1%であった。しかしながら、目標値には及ばなかったものの、おおむね達成している。
- 議会に関心を持つ指標とした回答項目において、すべて前年度とほぼ同じ人数、割合であった。
- 年齢別の割合を見ると、「全く見たり、聴いたりしなかった」と回答した割合が20代から40代が一番多かった。
- これらの要因としては、議会だより等で議会の傍聴等呼びかけはしているものの、まだまだ浸透していないものと判断される。

⑤ 基本事業の目標達成度

(平成25年度目標と実績との比較)

○=すべての目標値を達成 △=一部の目標値を達成 ×=すべての目標値を未達成

① 議会に関する情報提供の充実	×	⑤	
② 議会運営への支援	△	⑥	
③		⑦	
④		⑧	

6 平成26年度の施策の取組方針

(昨年度マネジメントシートより)

市民に関心を持たれる議会を目指して、議会改革のサポートを行いながら、市民に対する積極的な情報提供に努める。

7 平成27年度に向けた施策の課題・方向性

市民意識調査の結果をみると、議会に対する若年層の関心が薄いということから、さらに市民に関心を持たれる議会を目指し、議会改革のサポートを行うとともに、市民に対する議会活動の積極的な情報提供に努めていく。

基本事業No.	7-4-1	基本事業名	議会に関する情報提供の充実	基本事業 主担当課	議事調査課
---------	-------	-------	---------------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針 (総合計画書より)

- 議会だよりの更なる充実を図る。
- 議会だよりの、ケーブルテレビなどの広報媒体を利用し、議会中継の充実や傍聴手段の周知を図る。
- 議会報告会等により市民との対話を進める。

②対象	市民	③意図	議会活動に関する情報が得られる
-----	----	-----	-----------------

2 基本事業の指標等の推移

◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標年度)
				成り行き値	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
A 議会活動に関する情報提供が十分になされていると考える市民の割合	%	市民意識調査	目標値	60.0	62.0	64.0	66.0	68.0	70.0
			実績値	43.4	50.0				
			達成率	72.3%	80.8%				
			結果	△	△				
B			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
				結果					

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 「議会に関心を持っている市民の割合」については、「インターネットでの議会中継と本会議の会議録検索システムの導入」、「委員会の会議録の公開」、「議会報告会の実施」、「広報広聴常任委員会の設置」、「議会棟の音響再生装置等の改修」等を行い、議会広報活動等の充実を図っている。今後も議会広報活動等の更なる周知を図るとともに、「霧島市議会基本条例」の的確な運用を図ることにより、議会の審議内容がさらに理解され、議会がより身近なものと感じられるように考えられることから70.0%を目標値とする。

4 平成25年度基本事業の取組方針

- 傍聴者が傍聴しやすい環境整備を図る。
- 広報手段としての議会だよりの内容充実を図ると共に、インターネット映像配信及び会議録検索システムなどの広報手段について市民への周知を図る。

5 平成25年度基本事業の取組方針の達成状況及び要因

- 議会だよりで議場や傍聴席の写真を掲載するなど、傍聴の呼びかけを行った。
- 広報広聴常任委員会の委員を広報セミナーに参加させるなど、議会だよりの編集のノウハウを研修・習得してもらい、内容充実に努めるとともに、インターネット映像配信等についても、議会だよりのホームページを活用し、広報に努めた。

6 平成25年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因

- 議会活動に関する情報提供が十分になされていると考える市民の割合は、平成25年度の実績値が50.0%であり、平成24年度の43.4%から6.5ポイント増加したものの、目標値の62.0%には及ばなかった。
- 前年より増加した要因は、議会だよりの内容充実や議会報告会等の開催などが考えられるが、「何らかの手段で市議会の議論を見たり聴いたりしたことのある人の回答数・割合は平成24年度とほぼ同じであることから、市民の意識としては、議会からの情報提供が向上しているものと判断される。また、「議会がより市民に開かれたものとなるためにどのような取り組みが必要と思うか」という回答では、「議会だよりの構成の検討」の割合が最も多く53.8%、「ケーブルテレビなどの放映を増やす」が13.3%、「議会報告会の充実」が9.5%などとなっており、86.8%の人が、取り組みの必要性を認めている。
- ケーブルテレビの視聴者数は不明であるが、インターネットのライブ中継や録画中継のアクセス数は、前年度に比してそれぞれ187件、705件と増加している。また、会議録検索システムのアクセス件数も前年度に比して644件増加している。

7 平成26年度基本事業の取組方針

- 市民への議会活動の広報充実を図るため、分かりやすい議会だよりの作成を行う必要がある。
- インターネットを利用した本会議の映像配信、会議録検索システム、ケーブルテレビを通じた議会中継、議員と語り合い等の広報手段を議会だよりの活用などを通じて市民に広く周知を図る必要がある。
- 「議会基本条例」の的確な運用を図る必要がある。
- 議員と語り合いを引き続き行う。
- より分かりやすい議会だよりのため、紙面のレイアウト変更等を行う。

8 平成27年度に向けた基本事業の課題・方向性

- 市民への議会活動の広報充実を図るため、紙面のレイアウトの工夫などに取り組み、分かりやすい議会だよりの作成に努める。
- インターネットを利用した本会議の映像配信、会議録検索システム、ケーブルテレビを通じた議会中継、議員と語り合い等の広報手段を議会だよりの活用などを通じて市民に周知を図る。
- 「議会基本条例」の的確な運用を図る。
- 議員と語り合いを引き続き行う。

基本事業No.	7-4-2	基本事業名	議会運営への支援	基本事業 主担当課	議事調査課
---------	-------	-------	----------	--------------	-------

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）

議員活動や議会運営に必要な情報収集等の支援を行う。また、議員を対象とした研修等を積極的に取り入れる。

②対象 議会

③意図 活発な議論ができる環境が整う。

2 基本事業の指標等の推移

◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度(目標年度)
A	議員からの提案件数 (議提件数)	件	会議録	成り行き値	15	8	8	8	8	8
				目標値	15	15	15	15	15	15
				実績値	11	7				
				達成率	73%	47%				
				結果	△	△				
B	本会議で一般質問した議員の延べ人数	人	会議録	成り行き値	80	72	67	67	67	67
				目標値	80	72	68	72	72	72
				実績値	82	73				
				達成率	103%	101%				
				結果	○	○				
C	本会議で一般質問した議員の割合	%	会議録	成り行き値	64	64	64	64	64	64
				目標値	63	63	68	72	72	72
				実績値	64	64				
				達成率	102%	102%				
				結果	○	○				

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

A 類似団体でも年15件程度であり、本市もこの目標とする。
 B、C 平成25年に改選があり、定数が減となった。これまでの成果指標は一般質問等の議員の数及び発言回数を成果指標としていたが、不明確な部分もあったことから、平成26年度の振り返り時において、より成果指標として妥当な指標として上記の人数・割合に変更することとした。議会基本条例を定め、積極的な議員活動を行っていることから、今後も活発な議論が期待される。(旧の考え方:平成25年度に改選があるものの、積極的な議員活動を行っており、今後も実績値以上の議論が期待できる。)

4 平成25年度取組方針

■議員活動や議会運営に必要な情報収集等の支援を行う。
 ■議員を対象とした市議会独自の研修を行う。

5 平成25年度取組方針の達成状況及び要因

■議員の情報収集支援については、延べ8人の議員から38件の資料請求または議会基本条例に基づく質問があり、担当課と連携し、対応した。
 ■改選の年であったことから、改選前に新たな選挙の仕組みについての研修を実施した。

6 平成25年度の成果指標の達成状況及び要因

■平成25年は年度途中で改選があり、議員定数も8人(実質7人)の減となった。議員の一般質問の状況をみると、改選前は定例会あたり、平均20人であり、割合にすると62.5%であった。改選後は、12月で13人、3月で20人となっており、割合は12月が52.0%、3月が80.0%となっている。
 ■議会においても、議会基本条例を定め、議会改革にも努めているところであり、議会改革度の調査においては、上位にランクされており、議会の活性化が図られている。これらの要因としては、必要な情報収集等の支援及び議員対象の研修または行政視察等が、議員活動や議会運営に現れた成果であると思われる。
 ■議員提案の件数は減となっているが、一般質問等で行政視察先の政策の例を挙げながら執行部と議論を展開している。

7 平成26年度基本事業の取組方針

■議会及び議員の活動が適正かつ効率的に行われるよう、国や他市の状況等の情報収集や提供を的確かつ迅速に行うなど、議会運営を支援する。
 ■地域主権改革に伴い、議会機能の充実・強化が求められるため、議員研修の充実が課題である。

8 平成27年度に向けた基本事業の課題・方向性

■議会及び議員の活動が適正かつ効率的に行われるよう、国や他市の状況等の情報収集や提供を的確かつ迅速に行うなど議会運営を支援する。
 ■地域主権改革に伴い、議会機能の充実・強化が求められるため、議員研修の充実とともに、議会基本条例に基づく議会活動及び議員活動の支援に努める。